
伝えたいこと～蘭side～

菜花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

伝えたいこと〜蘭side〜

【Nコード】

N1770E

【作者名】

菜花

【あらすじ】

電話の後の蘭。言いたくない言葉を言ってしまった……。蘭一人称です

今日新一から電話があった。

私“新一なんてきらい” って切っちゃった。

嘘……嫌いなわけない。嬉しいはずなのに電話でしか話せないのに

……

口から出た言葉は“きらい”だった。

新一は

あの日トロピカルランドで居なくなった……

会いたいよ……新一……

謝りたいよ……

もし神様がいるのなら時を戻してあの日の前日に……

馬鹿だよね私

また涙出てきちゃった。

泣かないって決めたのに……

私の中で新一がこんなに大きくなってたなんて気付かなかった……
止まって

止まってよ

お願い全て止まって……

涙も時間も全て

ねえ、新一

帰ってきて

「もう……私のそばから居なくならないで」

「ごめん」

私いつの間にか誰かを抱き締めてた。

「ごめん……蘭。俺さ……蘭を苦しめることしかできねんだな」

彼から聞こえた声新一に似てた。だからかな……私ここに居るのが一番居心地がいいみたい

「違うよ……苦しめてるわけじゃないよ。私が勝手に悩んでるだけ。ごめんね。私ね新一きらいじゃないよ」

私ね言えたよ。本当のこと言えたよ。

「ありがとな。俺の特等席はお前の隣だから」

少しだけ明るい“ありがとう”の言葉。
その後続く居心地のいい言葉が麻薬のように私の意識を遠退かせた。

「蘭ねえちゃん！ソファで寝てたら風邪ひくよ！」

あれいつの間に寝てたのかな……

「ごめんね。いまからご飯つくるね！」

「うん!!」

夢か現実かわからないけれど私のあやまりたかった言葉言えたよう
な気がする

“きらいじゃない”

この後の言葉は新一が帰ってきたら伝えます

完

2008年4月30日

（後書き）

ご覧頂きありがとうございます

無性に書きたくなってさっきかいちゃった！！話します

伝えたいこと

これコナンスideもあるんですが要望あれば投稿します。

評価感想お待ちしております

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1770e/>

伝えたいこと～蘭side～

2010年10月9日22時48分発行